

ミズノベースボールバトルチャンピオントーナメント 試合規約 (2022年)

第1-2 条 (開催期間およびイニング・延長戦)

予選・準々決勝 ※予選の試合は4月～5月末日までを期限とする ★5月末にて予選日程終了
※準々決勝は6月～7月末日までとする

- ・トーナメント表の左が先行で3塁側、右が後攻（ホームチーム）の1塁側
- ・7回制の最大120分。9人又は10人攻撃制 雨天の場合は4イニングで試合成立
- ・7回終了時で同点の場合、タイブレーク（サドンデス）方式で決定する（最大9回）
- ・タイブレーク（サドンデス）でも勝敗が付かなかった場合は、じゃんけんとする
- ※上記の方法（タイブレーク）は1死満塁とし、打者は次打者、走者は前回最後の3打者をそれぞれ走者としこれを標準とする。最大9回、以降決着つかない場合はジャンケンに移る（最終回で出場していた9人で行う。10人攻撃の場合は9番まで）
- ・試合開始時刻を10分経過して9人が揃わない場合、試合放棄として相手チームの不戦勝とする
- ・3回以降7点差、5回以降5点差がついた場合はコールド制を採用とする

優勝決定戦・準決勝 ※10月～12月に開催

準決勝：10月2日（日）中間仰木彬記念球場

決勝戦：11月20日（日）下関オーヴィジョンスタジアム

※試合日程、球場は変更する場合があります。

- ・優勝決定戦及び準決勝 7回制 ※7回終了時点で同点の場合は1死満塁スタート。最大9回まで以降決着がつかない場合はジャンケンに移る（最終回で出場していた9人で行う。10人攻撃の場合は9番まで）
- ・準決勝・優勝決定戦は審判を事務局で派遣（事務局負担）

第3条 (攻撃/DH制度)

- ・攻撃は9人又は10人攻撃可
- ・DHを許可する
9人又は10人攻撃のDH制を採用する
DH制の採用は、毎試合ごとにチームの自由選択とする
DHは試合前に選ばれ、相手チームと審判に提出するメンバー表に記載する
DHは試合途中で止めることはできない
DHへの代打は可能だが、DHから守備、守備からDHへの変更はできない。また、一度交代した選手は再度出場することはできない

第4条 (審判制度)

- ・審判は1人制から4人制とする（準々決勝まで審判の派遣などは双方で事前確認）
※準決勝・決勝は事務局で派遣する
- ・審判への野次、暴言は厳禁とする。その場合は失格処分とする

第5条 (助っ人)

- ・ 投手-捕手の助っ人は禁止、他助っ人に関して補強目的でなくあくまで人数不足により棄権の恐れがある場合のみ助っ人を許可する。投手または捕手にやむを得ず助っ人使用は、相手チーム+3点加点
バッテリーの場合は、相手チーム+6点加点
- ・ なお最低5人は必ず自チーム登録選手である事、それ以下で助っ人が大半を占める場合刻当試合の試合消化は認めるが、試合結果問わず相手の勝利となる

第6条 (試合管理)

- ・ ホームチーム (後攻チーム) が試合運びを先導する。結果報告を事務局に翌日～3日以内までに必ず報告
- ・ 試合日程が決まりましたら、ホームチームが事務局に必ず試合日程を報告 (メールのみ)

第7条 (試合記録/表彰)

- ・ 試合結果はホームチームが試合終了から3日以内に事務局に報告 (メールのみ)
- ・ 表彰は優勝、準優勝、3位×2 とする